

ピシロック®フロアブル

PYTHILOCK

登録番号 第23952号

種類名 ピカルブトラゾクス水和剤
picarbutrazox

殺菌剤分類 U17

性 状 類白色水和性粘稠懸濁液体

有効年限 4 年

有効成分 ピカルブトラゾクス 5.0%

毒 性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包 装 500mℓ×20本

■特 長

1. ベと病、疫病、ピシウム病等、卵菌類由来の病害に対して高い効力を発揮します。
2. 新規系統のテトラゾリルオキシム系殺菌剤です（新規作用機構〔推定〕U17）。
3. 既存の殺菌剤耐性菌に対しても有効ですので、ローテーション散布の1剤として期待できます。
4. 収穫前日まで使用できます。
5. 予防効果が主体の殺菌剤で、浸達活性があります。
6. 登録作物に対する安全性が高い薬剤です。

最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用病害名及び使用方法

(2025 年 2 月 12 日現在)

作 物 名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	ピカルブトラゾクス を含む農薬の 総 使 用 回 数	使用方法
み か ん	褐色腐敗病	1,000	200 ~ 700 ℓ /10a	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	散布
キ ャ ベ ッ	ピシウム腐敗病		100 ~ 300 ℓ /10a				
レ タ ス 非結球レタス	べと病						
鱗 茎 類							
う り 類	べと病 褐色腐敗病(すいか)						
ト マ ト ミニトマト ピーマン さといも	疫病						
な す	褐色腐敗病						
非結球あぶらな科 葉 菜 類	白さび病						
は く さ い	べと病 白さび病 ピシウム腐敗病						
か ぶ	べと病 白さび病						
だ い こ ん	白さび病 ワッカ症	8	1.6 ℓ /10a	2回以内	2回以内	無人航空機 による散布	
はなやさい類	べと病	1,000	100 ~ 300 ℓ /10a				散布
ほうれんそう	立枯病 根腐病						

殺 菌 剤 ピシロックフロアブル

作 物 名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	ピカルブトラゾクス を含む農薬の 総 使 用 回 数	使用方法
み つ ば	べと病	1,000	100 ～ 300 ℓ /10a	収 穫 前 日 ま で 但 し、 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで	2回以内	2回以内	散布
アスパラガス	疫病	500	3 ℓ /m ²	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	灌注
い ち ご			50 ～ 100m ℓ /株	※開花前 まで			
て ん さ い	苗立枯病 (アフアノミセス菌) 苗立枯病 (ピシウム 菌)	500 ～ 1,000	ペーパーポット 1冊当り 1 ℓ (3 ℓ /m ²)	は種時～ 定植前	2回以内	2回以内	土壌灌注
せんきゅう	べと病	1,000	100 ～ 300 ℓ /10a	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	散布
花き類・観葉植物	立枯病 (ピシウム 菌) 根腐病 (ピシウム 菌) 腐敗病 (ピシウム 菌)	500	3 ℓ /m ²	発病前	5回以内	5回以内	灌注

※いちごの使用時期は開花前まで(開花後は使用しない)。

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用前によく振ってから使用してください。
2. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
3. 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調整してください。
4. 過度の連用をさけ、なるべく作用機構の異なる薬剤との輪番で使用してください。
5. 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を守ってください。
 - (1) 散布機種 of 散布基準に従って行ってください。
 - (2) 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - (3) 散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - (4) 散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - (5) 散布終了後、機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。また使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
6. 本剤を使用しただいこんは、つまみ菜、間引き菜として食用に供さないでください。
7. みずかけな(水掛菜)に使用する場合は、ほ場に水がない状態で使用してください。また、使用后 14 日間は入水しないでください。
8. カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用后 14 日間は入水しないでください。
9. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
10. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

11. 誤飲などのないよう注意してください。
12. 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

(参考資料) 鱗茎類、うり類、はなやさい類に含まれる適用作物名 (抜粋)

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
野菜類	鱗茎類	鱗茎類 (根物)	たまねぎ		鱗茎を収穫するもの
			葉たまねぎ	葉玉葱	たまねぎの比較的若い段階 (鱗茎が太り始める頃) の葉及び鱗茎を収穫するもの
			食用ゆり	ゆりね	
			にんにく	ジャンボニンニク、エレファントガーリック、グレートヘッドガーリック	鱗茎を収穫するもの
			葉にんにく		にんにくの比較的若い段階の葉及び鱗茎を収穫するもの
			のびる		葉及び鱗茎を収穫するもの
			ベルギーエシャロット	シャロット	
			らっきょう	らっきょう (エシャレット栽培)、らっきょう (エシャロット栽培)	鱗茎を収穫するもの
		鱗茎類 (葉物)	あさつき	イトネギ、センボンワケギ	葉及び鱗茎を収穫するもの
			ぎょうじゃにんにく		
			チャイブ	エゾネギ、セイヨウアサツキ、シブレット	葉を収穫するもの
			にら	黄にら	
			にら (花茎)	花にら	花蕾及び花茎を収穫するもの
			にんにく (花茎)		花茎を収穫するもの
			ねぎ	九条ねぎ、加賀太ねぎ、千住ねぎ、やぐらねぎ、下仁田ねぎ、リーキ、わけねぎ	茎葉を収穫するもの
			わけぎ		
			作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		
	うり類	うり類 (未成熟)	赤毛ウリ	モーウィ	
			エホバク	韓国カボチャ	果実を収穫するもの
			きゅうり	乙事赤うり	
			きゅうり (花)	花丸きゅうり	きゅうりの雌花を収穫するもの
			食用ひょうたん		
			食用へちま		
			しろうり	あおうり、カリモリ、はぐらうり、青しまうり、くろうり、桂うり	果実を収穫するもの
			ズッキーニ		
			ズッキーニ (花)	花ズッキーニ	花を収穫するもの
			とうがん	かもうり、冬瓜	
		うり類 (成熟)	にがうり	つるれいし	
			はやとうり		果実を収穫するもの
			ゆうがお	かんぴょう	
			かぼちゃ	日本かぼちゃ、西洋かぼちゃ、ぺぼかぼちゃ (ズッキーニを除く)	
			すいか		成熟した果実を収穫するもの
			漬物用すいか	源吾兵衛西瓜	未成熟な果実を収穫するもの
			ツノニガウリ	キワノ	
			まくわうり	菊メロン、銀泉、金太郎、金俵、タイガメロン、ニューメロン、悠紀メロン	成熟した果実を収穫するもの
			漬物用まくわうり	べっちゃんうり	未成熟な果実を収穫するもの
			メロン	アールスメロン、アムスメロン、アンデスメロン、エリザベスメロン、キンショウメロン、キンショメロン、クインシーメロン、タカミメロン、ハニーデューメロン、パパイヤメロン、プリンスメロン、ハミウリ	成熟した果実を収穫するもの
			漬物用メロン		未成熟な果実を収穫するもの
	(花蕾及び茎)	はなやさい類	カリフラワー	はなやさい、さんごしょう、ロマネスコ、カリフロレ	
			茎ブロッコリー	スティックセニョール	花蕾及び花茎を収穫するもの
			ブロッコリー		
			作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		

農林水産消費安全技術センターホームページをご参照下さい。

<https://www.acis.famic.go.jp/shinsei/>

農薬登録における
作物名 (全体) は
こちらをご参照下さい。